

太陽光発電シミュレーション 「Suncle」の 利用デモンストレーション

東京電力ホールディングス株式会社
ESG推進室



- Suncleは、Googleの技術を活用したオンライン太陽光発電シミュレーション
- ユーザーは、住所、希望容量、電気代を入力することにより、日射量他、経済性（C向けFIT、補助金情報含む）、CO2削減量などを一瞬でシミュレーションが可能



市民向けシミュレーション
入力パラメータや
試算結果がシンプルで
一般ユーザーが使いやすい
無償シミュレーション



事業者さま向けシミュレーション
PV設置単価や現在の施設の電気料金単
価等の入力パラメータに加え、建物の屋根面
積、発電予測量、回収期間、CO2削減量
などの試算が可能。試算結果の保存や、保
存データのCSVデータダウンロード機能有。

- 発電量の試算にはGoogle のSolar APIを活用しています。
- 設備費・工事費やCO2削減量等の係数は、経済産業省や環境省の数値を初期値として設定。ユーザーが自由に数値を変更することもできます。
- カバー範囲は、C向け：人口カバー率約70%、B向け：日本全国99%。

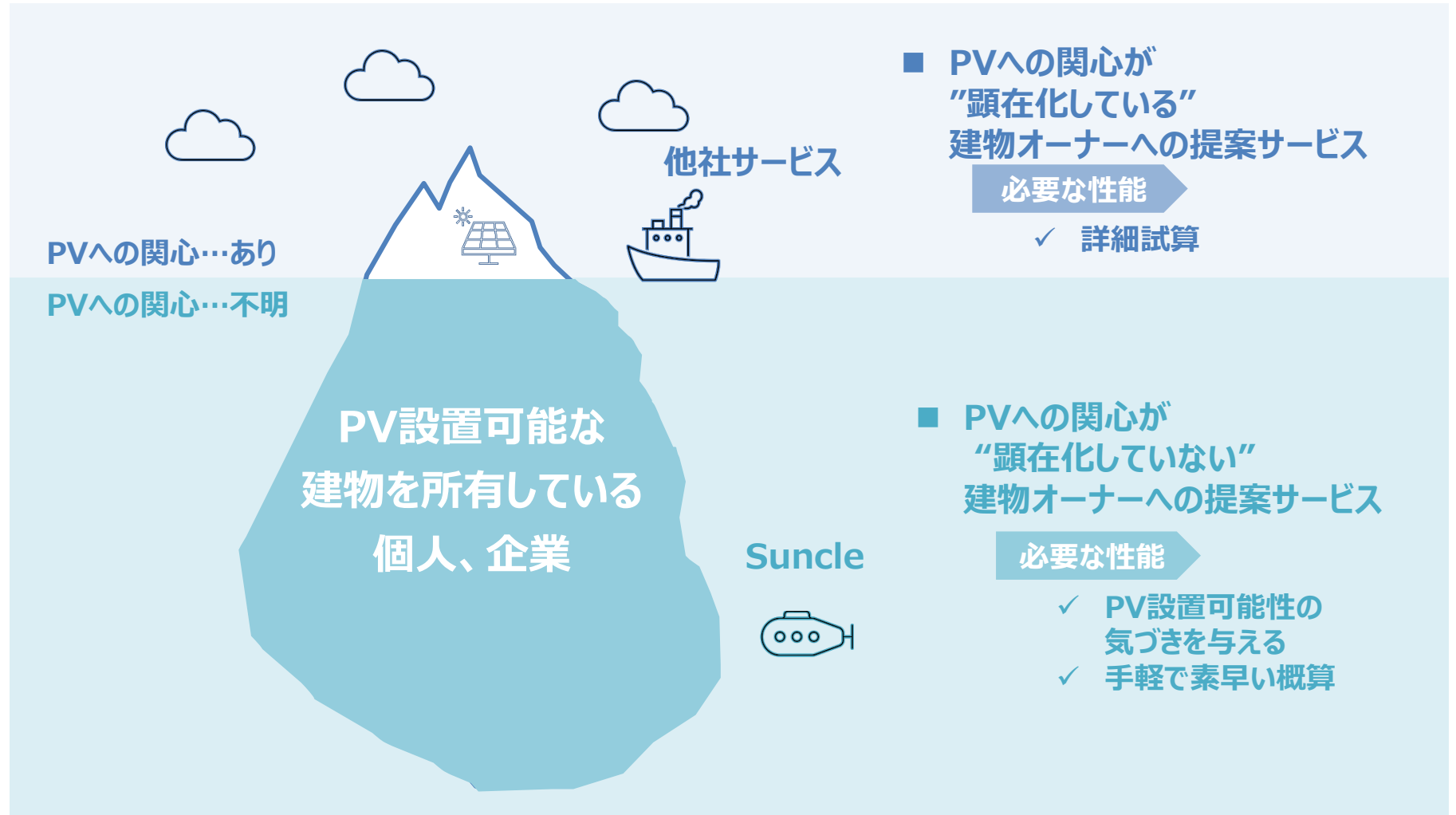
発電量の試算方法

- 1 屋根のアウトライン・サイズ・傾斜を機械学習で認識
- 2 認識した屋根情報から設置可能な太陽光パネル数を予想
- 3 気象データを元に影を作り出す周囲の木や建物を考慮し
日射量を計算
- 4 パネル数と日射量から発電量を試算





- Suncleは、PVへの関心が顕在化していない「潜在」層へのアプローチや、PV導入の計画づくりに最適なサービスです



- 操作性、見栄えの良さで、PV提案初心者でもカンタンに、顧客の心をつかむ提案ができるようになります。
- <実績>
トスアップ率: チラシ営業0% vs SFB5%、「商談時間が伸びた」60%、「提案時の反応が好転した」90%



1. Wow Factor

その場で特定の建物検索、日射量マップを見せることで、お客さまの関心をひくことができます。

2. Fun Factor

入力パラメーターを変更すると、その場で試算結果が表示され、お客さまが好奇心を持って自分事として認識することができます。

3. 信頼性

Google のAPIを活用しており、Google ロゴの入った Google 画像が利用可能。試算は、Google の機械学習を使った数値に、東京電力が国の報告書等の数値を掛け合わせたものを使用しています。

4. 初心者でもカンタン

複数のツールを使わず、容量、発電量、屋根サイズなど一瞬で試算でき、提案数をUPが期待できます。

<参考> SuncleとSuncle for Businessの比較 **TEPCO**

6

※違い	Suncle	Suncle for Business (小田原市)
対象容量	家庭用：10kW未満	- 事業用：10kW以上 - 家庭用：10kW未満
シミュレーション利用者	戸建てオーナー	PV事業者のPV営業担当者等
想定用途	所有している家のPV試算	PV営業ドアノックツール
シミュレーション利用料金	無料	有料
サービス開始時期	2019年8月	2024年4月
機能	- 日射量マップ - 発電シミュレーション	- 日射量マップ、発電シミュレーション - 個別アカウントログイン - 複数住所一括試算 - 試算記録の保存/リスト化/一括ダウンロード/ - パネル配置場所イメージ
入力/調整可能項目	- 住所 - 平均電気代(円/月) - PVシステム容量(kW)	- 住所、PVシステム容量(kW) - 施設の電気料金単価(円/kWh)、余剰電力の売電単価(円/kWh) - PV設置単価(円/kW)、補助金(円)※手入力、PV運転維持単価(円/kW/年) - PV設置面積(m²)、PV設置面積割合(%) - PV自家消費率(%) - CO2係数
表示項目	- 設置費用目安(円)、回収期間(年) - 経済性グラフ - 節約できる電気代(円/月)※節電収益+売電収益 - 補助金(円)※住所から自動計算	- 発電予測量(kWh)、自家消費量(kWh)、売電量(kWh) - 運営収支(円/年)、節約できる電気代(円/年)、売電収益(円/年)、運転維持費(円/年) - 設置費用(円)、回収期間(年)、経済性グラフ - 屋根面積(m²) - CO2削減量(トン)